

令和 6 年度宮城県 食育・食生活実態調査について（案）

1 調査の目的

本調査は、県民の食育や食生活に関する実態・課題を把握し、次期宮城県食育推進計画の基礎データとする他、県健康増進計画等の県の健康関係計画の進捗状況の確認等に活用する。また、県や市町村の食育・栄養施策のより効果的な実施に反映するもの。

2 実施主体 宮城県、県内全市町村

3 調査時期 令和 6 年 10 月～11 月

4 調査対象

(1) 対象地区等

対象市区町村	県内全市区町村
対象者	満 20 歳以上の男女（約 5,000～7,000 人）
回収率の目標	50%（2,500～3,500 人）

(2) 対象者選定方法

各市町村の住民基本台帳より無作為抽出を行う。

5 調査方法

調査票を対象者に郵送で配布し、郵送又は電子申請システムでの回答とする。

6 調査項目

(1) 簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）調査

性別、生年月日、身長、体重、妊娠授乳の有無のほか、過去 1 か月の乳類、肉類、野菜、果物、菓子類、麺類、飲み物等の食物摂取頻度、平均的な 1 日のご飯と味噌汁の摂取量等に関する質問票調査とする。

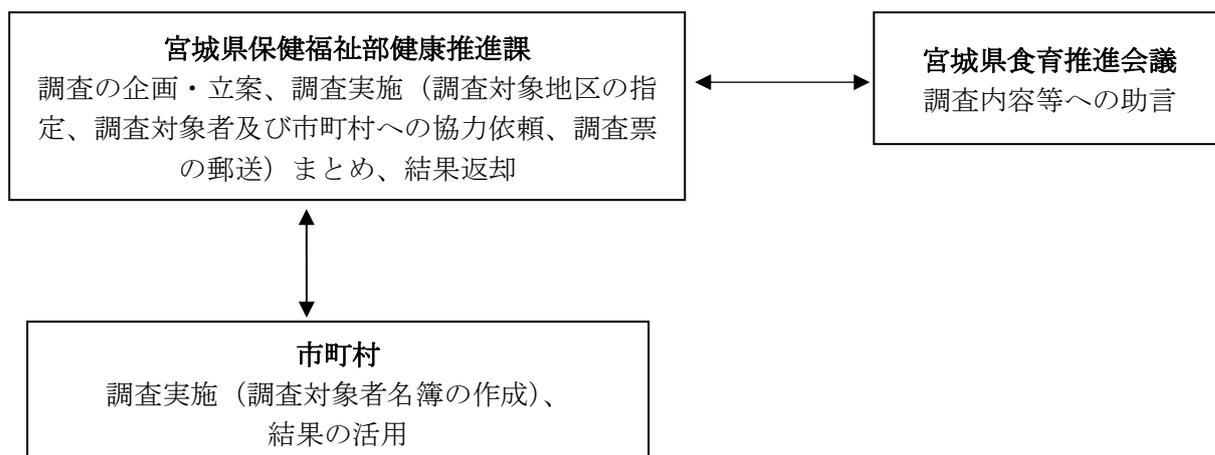
(2) 食育・食生活等意識調査

県民の食育及び食生活等について、無記名の自記式質問紙調査とする。

【食育・食生活等意識調査の項目】

	大項目	小項目
1	基本情報	性別、年齢、身長、体重、雇用形態、同居人数
2	食生活について	食意識について
		食行動について
3	食育について	関心について
		共食について
4	食環境について	食品へのアクセスについて
		情報へのアクセスについて
5	その他（世帯主のみ回答）	収入、非常用食品の用意

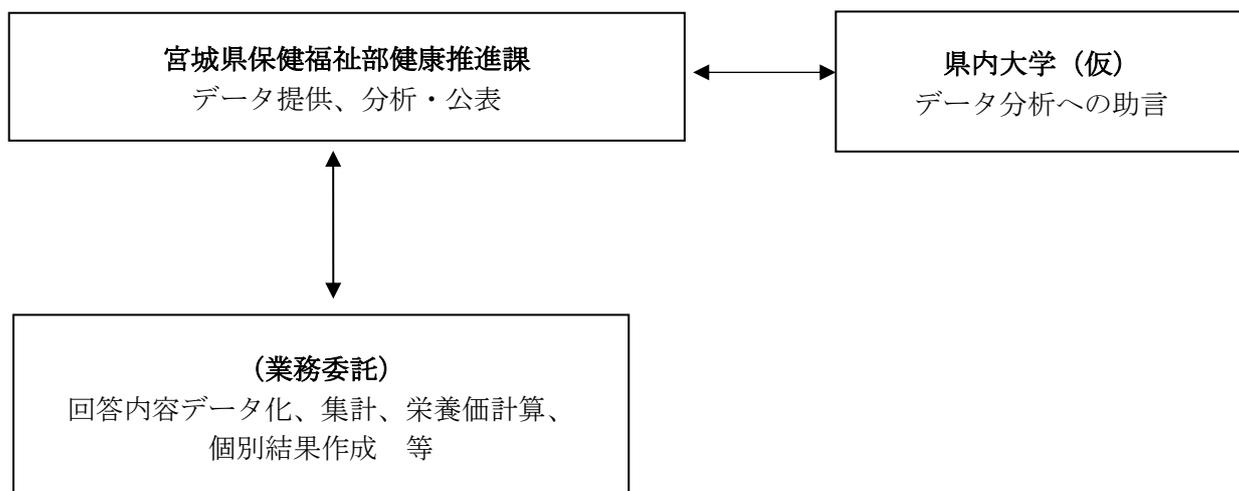
7 調査体制



8 結果集計・解析

厚生労働省「都道府県健康・栄養調査マニュアル」に基づき、集計解析を行う。

調査データの入力は業務委託により行い、結果の集計・解析は大学からの助言の下に健康推進課が行う。



9 結果の活用

- (1) 次期宮城県食育推進プラン策定及び進捗状況の確認
- (2) みやぎ21健康プラン等県の健康に関する各種計画の進捗状況のモニタリング
- (3) 市町村や保健所における市町村別、圏域別での食育・栄養施策の推進
- (4) データからみたみやぎの健康への掲載